

愛知県災害廃棄物処理計画の改定概要

1 改定の背景

南海トラフ地震のような大規模災害が生じた際、全国一の産業県である本県は、災害廃棄物を迅速かつ適正に処理し、速やかに復旧・復興を果たすことが必要である。

このため、本県では2014年3月に環境省が策定した「災害廃棄物対策指針」を踏まえ、2016年10月に愛知県災害廃棄物処理計画（以下「県計画」という。）を策定し、災害廃棄物処理体制の構築を進めており、県内の市町村においても災害廃棄物処理計画の策定が進められてきた。

その後、環境省は熊本地震をはじめとした近年の様々な災害の知見を踏まえ、2018年3月に災害廃棄物対策指針を改定した。また、国、中部地方各県、政令市・中核市、産業廃棄物協会等で構成する大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会において、2017年2月に災害廃棄物中部ブロック広域連携計画を改定した。

こうした近年の様々な災害の知見や災害廃棄物対策指針の改定なども踏まえて、県計画の改定を行うものである。

2 主な改定点

（1）最新の知見の反映

近年の災害への対応では、被災状況に応じて、県外自治体間の広域的な連携や、省庁間の連携による災害廃棄物処理対応が進められている。こうした状況を踏まえ、最新の知見等を県計画に反映させるため、以下の点などを踏まえ、災害廃棄物に係る対応の見直しを行うこととしている。

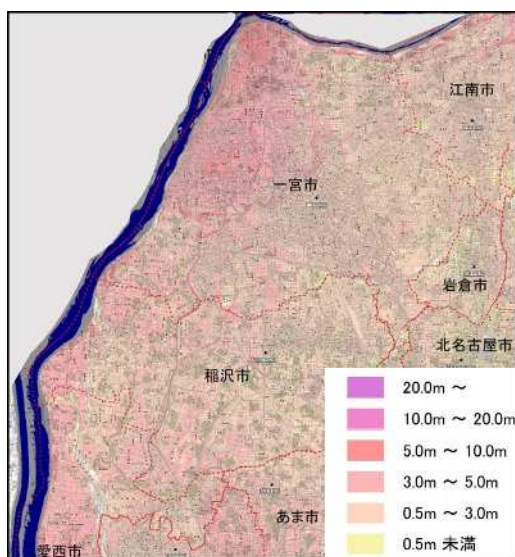
- ・ 災害廃棄物対策指針の改正
- ・ 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画の策定・改定
- ・ 近年の災害廃棄物処理対応事例
- ・ 被災自治体へのヒアリング結果

(2) 洪水・土砂災害による災害廃棄物発生量の推計

近年、全国で集中豪雨の発生頻度が増加しており、各地で甚大な被害が発生している。今回の改定では、新たに洪水・土砂災害における災害廃棄物発生量を推計するとともに、発災後の対応について、近年の災害事例を踏まえて見直しを行うこととしている。

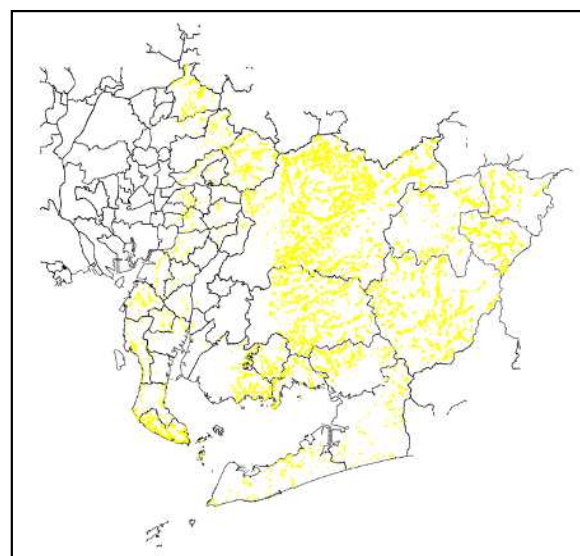
洪水による災害廃棄物発生量については、洪水浸水想定区域図及び浸水予想図を基に市町村別に推計を行うこととしている。

また、土砂災害における災害廃棄物発生量については、「愛知県土砂災害情報マップ」を基に市町村別に推計を行うこととしている。



木曾川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

出典：国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所の図を基に作成



愛知県における土砂災害警戒区域

出典：愛知県土砂災害情報マップを基に作成

(3) その他

新型コロナウイルスなどの感染症対策に関する留意事項を記載する。

本県及び愛知県産業資源循環協会が実施した令和元年東日本台風（令和元年台風19号）の広域支援で得られた知見を記載する。